

令和5年3月27日

関東森林管理局長 殿

住 所 東京都多摩市豊ヶ丘 1-58-1-202  
称 号 森林インストラクター東京会会長  
代 表 者 宮入芳雄  
電話番号 042-373-8982

### イベント実施中の事故報告

令和4年2月22日に協定を締結した森林ふれあい推進事業における下記イベントについて、協定書第17に基づき、報告をします。

なお、事故発生後速やかに高尾森林ふれあい推進センターに口頭にて報告をした事を申し添えます。

### 記

イベント名	⑬ 春の健康ハイキング～北高尾の森で春を探そう～
実施場所	大久保バス停－聖パウロ学園の森－滝の沢林道－板当峠－黒ドッケ－夕焼け小焼けふれあいの里 *当初、滝の沢林道－小下沢林道－小下沢梅園－梅の里バス停 の予定でしたが、小下沢林道が工事中のため一部コースを変更（昨年と同コース）
実施年月日	令和5年3月9日
イベントの内容	北高尾の森の、早春の木々の芽吹きやスプリングエフェメラルなどを観察しながら、里山、尾根道、沢筋の道を歩きます。五感を研ぎ澄ませ、春の兆しを感じていただくのが目的です。
事故者	参加者 73才 女性 ふれあいイベント参加6回目
事故の概要	発生時刻：13時30分頃 天候 晴れ 発生場所・状況：北高尾山稜「黒ドッケ」から夕焼け小焼けふれあいの里へ の下山中、標高500m付近の尾根をトラバースする登山道を歩行中、小石でスリップし、路肩を踏み外し転倒、谷側に約5.5m転落し、灌木で止まる。転倒した場所はヒノキ・杉林地で林床は軟らかく、傾斜約20度程度の斜面（別紙 参照）。 事故後の対応：スタッフ2名で転倒者のもとに行き、意識、ケガの状況、自力歩行が可能であることを確認。本人は左脇腹、右足首も痛みを訴えていたが登山道まで戻り、夕焼け小焼けふれあいの里まで下山、バスで高尾駅に向かった。 高尾駅前（吉田クリニック）及び西八王子駅前（南多摩病院）の医療機関を受診、打ち身との診断を受けて帰宅。その後（3月13日）、痛みが引かない為自宅近くの医療機関（桜町病院整形外科）を受診、レントゲン、CT検査で左肋骨2ヶ所にひびが入っている事が判明、全治2～3週間との診断を受ける。治療はなく安静との事。 今後は、当会加入の保険請求の手続きをする（事故者とは十分にコミュニケーションは取れています）。

	<p>現場検証（3月20日、スタッフ3名で実施）：現場の登山道は夕焼け小焼けふれあいの里から黒ドッケ、北高尾尾根への登山道になっており年間1,000人（毎月100人程度）を超えるハイカーが訪れる場所で、快適なハイキングコースとなっている。実際に黒ドッケから下り、事故現場までを歩き、どこに事故原因があったのかを検証した。</p> <p>事故の原因（推定）：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 事故者は現場付近手前から、班行動の中で遅れがちであった事が後方のアシストが確認している。疲労で脚力の踏ん張りが効かなかった事、また注意力が散漫になっていた事が推定される。</li> <li>② 現場付近の登山道は斜面をトラバースしており、幅も60cm程度で注意が必要でした。班メンバーへ声掛けなどの注意喚起が足りなかったと推定される（手前の分岐で休憩、出発前の注意喚起はしていた）。</li> </ul>
<p>今後の対応</p>	<p>森林ふれあい推進事業イベントへの対応：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 今回のイベント全体を総括し、事故発生の原因、事故後の対応などを検証し、当会でこの事例を共有し、森林ふれあい推進イベントの安心・安全な運営を行う。</li> <li>② 毎年実施している安全講習会（講義・現場）に今回事例を教訓として加える（参加者の様子確認、注意喚起、事故発生した場合の対応など）。</li> </ul>

添付資料（別紙）

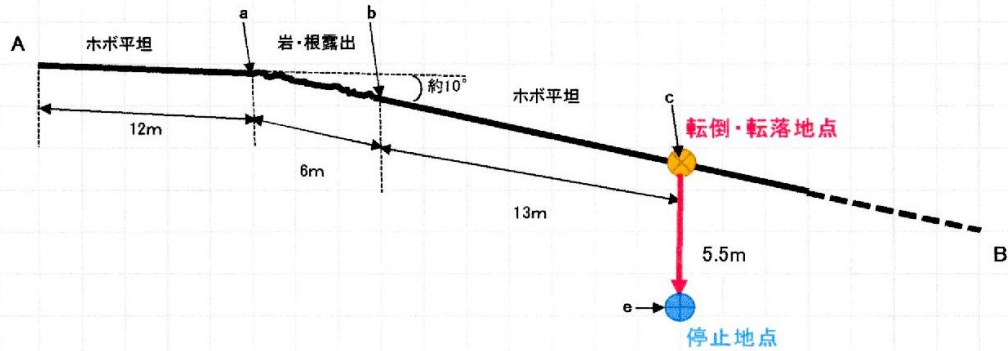
- ① 位置図（地図）
- ② 登山道断面図
- ③ 現場写真

1. 位置図

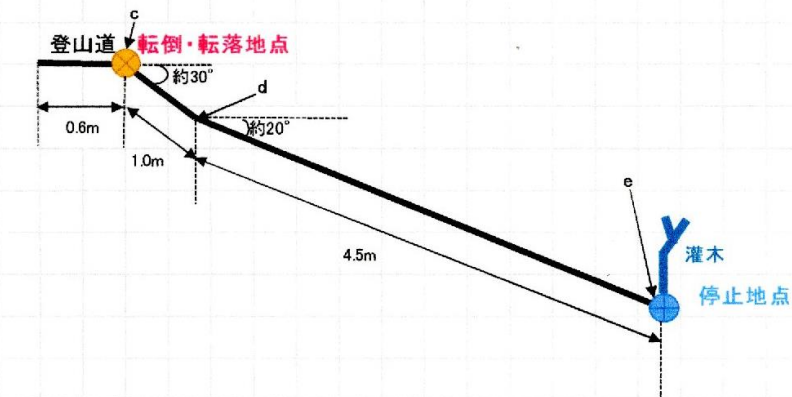


2. 断面図

(1) 登山道断面図



(2) 転落地点断面図



3. 現地写真(現場検証): 登山道の状況



転倒位置の斜面



b地点 ⇒ c地点



c地点路面の状況